

実務経験のある教員による授業科目時間数

課程名	学科名	授業時数合計	省令で定める 基準授業時数
衛生専門課程	ビューティースタylist科	200 時間	160 時間
文化・教養 専門課程	トータルビューティーク	180 時間	160 時間

実務経験のある教員等による授業科目一覧

「ビューティースタylist科」

授業科目名	時間	授業概要
美容実習 I	200 時間	美容室にてトップスタイリスト（美容師）として活躍した経験を活かし、現場サロンの実践的な業務を踏まえて指導をおこなう。美容師養成課程として指導する内容を網羅して学校独自の即戦力となる実践教育を経験豊富なプロの美容師が指導する。特に就職後のサロンワークにおいてのアシスタント業務を十分に理解する。また技術以外でも仕事のやりがいや楽しさを実感できるように技術教育を通して経験談も含めて指導に努める。技術習得方法や技術に対する探求心を養い、自己啓発に於いても技術は練習量により技術の質も向上することを学ぶ。授業では主にウィッグを中心に学ぶことが多いが、定期的に相モデル実習も入れながらお客様に対する丁寧で正確、かつ、スピーディーな仕事を学ぶ実践教育を意識した教育をおこなう。現場でのお客様に対する心構えを含めて指導する。

「トータルビューティーク」

授業科目名	時間	授業概要
メイク実習 I	60 時間	美容室にてメイクアップアーティストとして活躍した経験を活かし、メイクの基本から総合的なメイクアップ技法を学ぶ。メイクアップの基本、また、道具のセッティングから使用方法、衛生管理、片付け方法を学ぶ。フェイスプロポーションを理解しお客様の悩みに対応できるタイプ別修正メイクの基本、メイクアップの提案などを指導する。
エステ実習 I	120 時間	日本で代表するエステティック資格を取得しエステティックサロンでエステティシャンとして多くのお客様に対応してきた経験を活かし、日本エステティック協会の教育システムを活用しながらエステティシャンの仕事の楽しさややりがいを学ぶ。お客様が安心してサロンに来店いただくために必要な道具の準備から片付けまでエステサロンでアシスタントとして働く業務から理解し、技術者の補助業務が出来るように体系的指導する。そのためにも基礎的技術を理解しながら業務の流れを両輪で授業を進めるように教員は努める。特に肌診断により準備する化粧品が異なり商品知識と実際の施術に関してプロの経験を活かした効率的な実例を含めて指導する。